

富山県

ウェルビーイング指標

の策定について



知事政策局成長戦略室 ウェルビーイング推進課



ウェルビーイングの捉え方

ウェルビーイング (well-being) とは

肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、
すべてが満たされた状態にあること

(WHO憲章前文 (日本WHO協会仮訳) ※「健康」の定義として)



社会的な立場、周囲の人間関係や地域社会とのつながり

なども含めて、自分らしくいきいきと生きられること。

主観的な幸福度を重視。

(富山県成長戦略)

ウェルビーイング指標策定の経緯

富山県成長戦略 (R4.2策定) ビジョン「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」

ウェルビーイング (well-being) → “戦略の中心”、“全体に通じる考え方”

(戦略本文) 成長戦略の実現に向けた施策について 1 (1) 県民のウェルビーイング向上、多様性の促進

**県民への普及啓発を図るとともに、
県民のニーズを把握し、ウェルビーイングを測る指標を設定**

富山県成長戦略アクションプラン (令和4年度版)

(1) 真の幸せ (ウェルビーイング) 戦略

① 県民のウェルビーイングの向上、多様性の促進

・ウェルビーイング調査・普及啓発事業

**ウェルビーイングの向上に向けて、これを測る指標を設定するとともに、
県民のウェルビーイングを推進するための取組みを促進**

ウェルビーイング指標策定の意義

一人ひとりが意識し「自分ごと」として考えることが、それぞれのウェルビーイングにつながる第一歩

◆主観[※]的な指標策定により、漠然とした印象のあるウェルビーイングを紐解き、可視化 → 県民共通理解の一助に

◆本県のウェルビーイング関連施策の羅針盤として、

① 県民への具体的な情報発信、意識・行動の促進

② 県民のウェルビーイングの現状把握

→ 県民の主観的な幸せの実感に繋がっているか効果を検証

③ウェルビーイング向上のための施策展開 に活用していく

※〇〇金額、□□人数、
◇◇面積のような客観的
データだけでは捉えきれない、
感じ方や考え方。
アンケート等の調査で測定。

ウェルビーイング指標策定にあたって捉えるポイント

指標策定にあたってウェルビーイングの次のような特徴を捉える

自分らしく、いきいきと生きられる

自分にとっての「**良い状態**」「**満たされている状態**」
(=自分のありたい姿、幸せ)が、

- ① **自分自身で実感できていること (主観的)**
- ② **一時的ではなく続いていること (持続性)**
- ③ **一人ひとりそれぞれ異なる姿があり、
様々な共通の要素が影響し合っていること
(多様性・多面性)**

➡ **様々な要素が満たされることでウェルビーイングが向上**

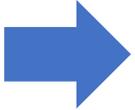


ウェルビーイング県民意識調査

県民意識調査 (R4.9)

(目的)

- ・ ウェルビーイングに関する**県民意識の現状把握**
- ・ 県民の意識傾向を探り、**どのような要素が県民のウェルビーイングに結びつきやすいかを分析**

 **2,754名** (県内在住・18歳以上) から回答

ウェルビーイング県民意識調査

県民意識調査 (R4.9)

(調査内容)

生活でのウェルビーイングに関連する項目への**主観的な「実感」**を問う

(1) **総合的な実感** (理想の生活に対する自己評価、10～0の11段階)

現在の実感だけでなく、現在を起点にし、**過去** (5年前・1年前) ・**未来** (5年後) も評価

→ 時間の経過を意識することで、「持続的な幸せ」、ウェルビーイングを捉える

(2) **分野別実感**

- ・心や身体の状態、生きがいなどに対する**自分自身**の意識
- ・**家族、友人、職場・学校、地域、富山県等との“つながり”**に関する意識・実感

※計60問、4段階で評価

(3) **基本属性** (年齢、性別、家族構成など)

ウェルビーイング県民意識調査結果

県民意識調査の集計結果（速報、R4.11.21公表）

年代や性別等によって異なる多様なウェルビーイングの姿が明らかに

ウェルビーイング 県民意識調査結果 (速報) 抜粋

